

【観点】Ⅰ：知識・技能 Ⅱ：思考・判断・表現 Ⅲ：主体的に学習に取り組む態度

単 元	指 導 内 容	評価の観点			評 価 規 準
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	
0章 算数から数学へ	・整数の性質	○			・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。
			○		・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだし表現することができる。
				○	・整数の性質や規則性に関心をもち、その原理について考えを深めている。
1章 正負の数	・正負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・正負の数の利用	○			・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 ・正負の数の四則計算をすることができる。 ・具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。
			○		・算数で学習した数の四則計算と関連づけて、その方法を考察し表現することができる。 ・数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 ・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。
				○	・正負の数の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。 ・正負の数を活用して問題解決をしたり、その過程を振り返ったりして検討しようとしている。
2章 文字と式	・文字を使った式 ・文字式の計算 ・文字式の利用	○			・文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。 ・簡単な1次式の計算をすることができる。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。
			○		・具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。
				○	・文字を用いることの有用性と意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。 ・文字式を活用して問題解決をしたり、その過程を振り返ったりして検討しようとしている。
3章 方程式	・方程式とその解き方 ・1次方程式の利用	○			・方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解できる。 ・移項の考えを用いての方程式・比例式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。
			○		・等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。
				○	・具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題と解決するることができる。 ・方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数や文字と式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。 ・方程式について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。 ・方程式を活用して問題解決をしたり、その過程を振り返ったりして検討しようとしている。
4章 比例と反比例	・関数と比例・反比例 ・比例の性質と調べ方 ・反比例の性質と調べ方 ・比例と反比例の利用	○			・関数の意味や比例、反比例についての性質を理解できる。 ・比例、反比例の関係を、表や式、グラフなどに表すことができる。
			○		・比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表や式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例、反比例を用いて具体的な事象を表し、考察し表現することができる。
				○	・比例、反比例について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。 ・比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ・関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。
5章 平面図形	・図形の移動 ・基本の作図 ・おうぎ形	○			・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解できる。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図をすることができる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。
			○		・図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。 ・線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。
				○	・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 ・平面図形について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。 ・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6章 空間図形	・いろいろな立体 ・立体の見方と調べ方 ・立体の体積と表面積	○			・空間における直線や平面の位置関係を理解できる。 ・空間図形の展開図や投影図について理解できる。 ・柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。
			○		・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。 ・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。
				○	・空間図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 ・空間図形について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。
7章 データの分析と活用	・データの整理と分析 ・データの活用 ・ことがらの起こりやすさ	○			・ヒストグラムや相対度数、累積度数等の必要性和意味を理解できる。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。
			○		・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解できる。 ・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、事象を読み取り表現することができる。
				○	・ヒストグラムや相対度数について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。 ・問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えたりしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを日常での生活や学習に生かそうとしている。

【観点】Ⅰ：知識・技能    Ⅱ：思考・判断・表現    Ⅲ：主体的に学習に取り組む態度

単 元	指 導 内 容	評価の観点			評 価 規 準
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	
1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の計算</li> <li>単項式の乗法と除法</li> <li>式による説明</li> <li>等式の変形</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。</li> <li>具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。</li> <li>文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
2章 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>連立方程式とその解</li> <li>連立方程式の解き方</li> <li>いろいろな連立方程式</li> <li>連立方程式の利用</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>2元1次方程式とその解の意味を理解している。</li> <li>連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
3章 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数</li> <li>1次関数の値の変化</li> <li>1次関数のグラフ</li> <li>1次関数の式を求める方法</li> <li>2元1次方程式のグラフ</li> <li>連立方程式とグラフ</li> <li>1次関数とみなすこと</li> <li>1次関数のグラフの利用</li> <li>1次関数と図形</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数について理解している。</li> <li>事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。</li> <li>2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。</li> <li>1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。</li> <li>1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
4章 平行と合同	<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の角の和の説明</li> <li>平行線と角</li> <li>合同な図形の性質と表し方</li> <li>証明の進め方</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。</li> <li>平行線や角の性質を理解している。</li> <li>平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。</li> <li>証明の必要性和意味及びその方法について理解している。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ、説明することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。</li> <li>平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
5章 三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形の性質</li> <li>二等辺三角形になるための条件</li> <li>直角三角形の合同</li> <li>平行四辺形の性質</li> <li>平行四辺形になるための性質</li> <li>特別な平行四辺形</li> <li>平行線と面積</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>証明の必要性和意味及びその方法について理解している。</li> <li>定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。</li> <li>反例の意味を理解している。</li> <li>正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。</li> <li>三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。</li> <li>ことが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。</li> <li>平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
6章 確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいこと</li> <li>いろいろな確率</li> <li>確立による説明</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。</li> <li>簡単な場合について確率を求めることができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。</li> <li>確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
7章 データの比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲と箱ひげ図</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>

【観点】Ⅰ：知識・技能    Ⅱ：思考・判断・表現    Ⅲ：主体的に学習に取り組む態度

単元	指導内容	評価の観点			評価規準
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	
1章 多項式	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の計算</li> <li>因数分解</li> <li>式の計算の利用</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。</li> <li>簡単な1次式の乗法の計算及び乗法公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解の方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
2章 平方根	<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根</li> <li>根号をふくむ式の計算</li> <li>平方根の利用</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性和有理数、無理数の意味を理解している。</li> <li>数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。</li> <li>具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
3章 2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式とその解き方</li> <li>2次方程式の利用</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切かどうかを判断することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
4章 関数 $y = ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math></li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> の性質と調べ方</li> <li>いろいろな関数の利用</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math> について理解している。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。</li> <li>いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math> として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math> の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
5章 相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>相似な図形</li> <li>平行線と比</li> <li>相似な図形の面積と体積</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。</li> <li>相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。</li> <li>相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。</li> <li>相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。</li> <li>図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
6章 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角の定理</li> <li>円周角の定理の利用</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> <li>円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係を見いだすことができる。</li> <li>円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係をみだそうとしている。</li> <li>円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
7章 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理</li> <li>三平方の定理の利用</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> <li>三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。</li> <li>三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理を見いだすことができる。</li> <li>三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理を見いだそうとしている。</li> <li>三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
8章 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の必要性和意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。</li> </ul>
			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。</li> <li>簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。</li> </ul>
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>